厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区　Atsugi Rotary Club Weekly

会長　西迫　哲
副会長　常磐　重雄
幹事　十亀　健志
副幹事　森住　等
会報・IT　石村　哲也

人類に奉仕するロータリー

2016～2017　国際ロータリー会長　ジョン・ジャーム

例会場　厚木商工会議所 5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

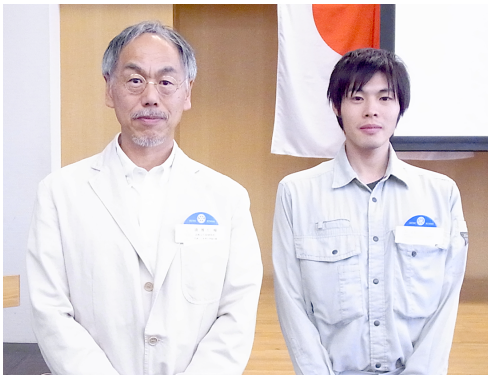
http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2747回例会（5月30日）☆司会　小林　透SAA

点鐘　…西迫　哲会長

斉唱　…それでこそロータリー

ゲスト紹介



武相文化財研究所
境　雅仁様・金森弘晃様

会長報告

◎ガバナー事務所　より
・6月　ロータリーレート　1ドル＝110円
・2016規定審議会案に対するアンケート結果のご連絡

委員会報告

◎雑誌・広報・年史委員会
ロータリーの友6月号

スマイル

西迫　哲会長
目標に近づけます様に願いを込めてスマイルさせていただきます。

十亀健志幹事
幹事の職も残す所1ヶ月となったせいか、気がゆるんでバッチ忘れてしまいました。反省スマイルします。

社会奉仕委員会一同
先日の月曜日はたくさんの会員の皆様、ご家族に第8回「県央相模川サミット」六市町村合同クリーンキャンペーンにご参加誠にありがとうございました。柳田さん、受付手続きありがとうございました。永井さん、今回もたくさんの社員の皆様とご参集頂き感謝致します。8月花火大会清掃もお待ちしています。皆様ありがとうございました。

小林　透君
日曜日の相模川クリーンキャンペーン体調不良の為（二日酔い…）欠席してしまい失礼しました。しかし、その日の晩にはまたワインを飲みました。

和田勝美君
飛鳥井先生「脊柱管狭窄症（せきちゅうかんきょうさくしょう）」とのこと、私の父も「脊柱管狭窄症」で苦労しています。2人の回復を祈り、また、先生の元気な姿を拝見できる日を楽しみにスマイルさせていただきます。

井上　聡君
先週金曜日のサラリーマン会では段取を頂きました、森住副幹事のお心遣いで楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

畑中雄太君
前回の例会にて誕生祝いをいただきありがとうございます。これでも42歳になりました。

近藤憲司君
先日は支店長等懇親会に参加させて頂きありがとう

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊事業所開設
髙野昌伴君（10日）

＊会員誕生日
近藤憲司君（6日）

今日の例会（2017年6月6日）

「保護司とは～保護司の役割・近年の傾向～」
担当：髙橋　浩君
講師：飛鳥井光治様

次回の例会（2017年6月13日）

「クラブ協議会」
担当：西迫　哲会長

ございました。途中で失礼してしまい恐縮でしたが、有意義な時間を過ごすことが出来、感謝です。引き続きよろしくお願い致します。

建部卓也君

誕生日のお祝をありがとうございました。今年で44歳になります。未熟者ですが、日々がんばります。

芳澤　渉君

鈴木商事代表の鈴木さん、先週は健康にまつわる卓話をありがとうございます。それに刺激されてではないですが…6/11に日本健康マスター検定（略して健検（けんけん））のエキスパートコースを受験致します。合格したら、健康ネタおすそわけ致します。

常磐重雄君

本日所用のため早退させて頂きます。おわびのスマイルです。

丸田隆弘君

所用により早退させて頂きます。毎回すみません。

今日のお花

薔薇（壽永純昭君）
百合（石村哲也君）

例会「開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査について」

担当：会田義明君
講師：境　雅仁様・金森弘晃様

調　査　概　要

1.遺跡の名称	厚木町上町遺跡　（厚木市№223）
2.種別	集落跡
3.調査期間	平成29年3月27日～平成29年5月13日（予定）
4.所在地	神奈川県厚木市厚木町2619番1の一部
5.調査機関	武相文化財研究所
6.調査担当者	金森弘晃
7.調査原因	宅地造成に伴う遺跡発掘調査
8.調査面積	185㎡×3面
9.発見遺構	近世・近代：建物址6基・井戸址1基・上水道施設4基。
10.出土遺物	近世・近代：磁器・陶器・金属製品・ガラス製品・木製品・石製品・動植物遺存体（コンテナ3箱）（336cm×445cm×200cm）
11.遺跡の時期	江戸時代～大正時代
12.特記事項	建物址は近世・近代を通じ、沖積地に適応した基礎作りが踏襲され、地中深く根太・根石を埋設し地盤沈下を防ぐ工法がとられていた。

＜調査経緯＞

神奈川県厚木市厚木町2619番1の一部における宅地造成建設による開発事業計画の相談が、大和ハウス工業株式会社より厚木市教育委員会文化財部文化財課（以下「市教委」という）に寄せられ、埋蔵文化財の取扱いについての照会があった。事業計画は、開発面積769㎡である。事業地は周知の埋蔵文化財包蔵地（厚木市No.223遺跡）に該当することから、事前の試掘調査が必要と判断された。

試掘調査は市教委によって平成29年2月27日に行われた。試掘調査は3箇所に設定して行われ、TP1～3（TP:試掘坑）から関東大震災の痕跡、明治～江戸時代にかけての建物の構造物、溝状遺構が検出された。

本調査は試掘調査の結果を受けて、185㎡の調査区域が設定され、文化層の調査は3面行った。

＜遺跡の概観＞

本遺跡は、小田急線本厚木駅の東北東約500mに位置する。幕末には街道筋に多くの商店や宿が並ぶ宿場町として、明治・大正を通じ賑わいを見せていた。

大正12年（1923年）の関東大震災により、壊滅的な被害を受けた江戸時代以降の建物等は地下の建築構造物や埋設管・井戸等を残して皆無の状況となり、整地後の新しい街道が形成さていった。調査はこの地中に残された埋蔵遺物を確認し、江戸時代をはじめ、明治・大正期の町並みの一角を明らかにすることを目的として行われた。

市教委の試掘調査において。当該地には関東大震災の痕跡及び、明治～江戸時代の構造物が確認されていた。調査は関東大震災の痕跡から始め、明治時代・江戸時代の遺構・遺物の調査を始めた。

調査によって次の遺構・遺物が確認された。

大正～明治・幕末期の建物址6基、井戸1基、上水道施設4基。陶磁器片・土師質土器片・ガラス片・動植物遺存体（魚類の骨、果実、種子）が遺物収納コンテナ3箱程度。

＜調査経過の概略＞

現地における発掘調査は、平成29年3月27日から平成29年5月13日まで実施した。

調査区全域には、世界測地系による国家座標の数値を基に5ｍ方眼のグリッドを設定し、調査・測量を行った。表土を覆う耕作土の除去作業は重機を使用し、関東大震災痕跡面（第1面）の遺物・遺構の調査を行った。市教委立会のもと第1面調査完了確認後、明治期文化層（第2面）まで重機で掘削を行い、遺物・遺構の調査を行った。市教委立会のもと第2面調査完了確認後、江戸時代文化層（第3面）まで重機を使用し掘削を行い遺構・遺物の確認を行った。

＜検出された遺構と遺物＞

調査によって、建物址6基・井戸1基・上水道施設4基。が検出された。

特筆すべき点は、建物址は近世・近代を通じ、沖積地に適応した基礎作りが踏襲され、地中深く根太・根石を埋設し地盤沈下を防ぐ工法がとられていた。調査区東端において木製の上水管3基が出土し、そのうち1基は井戸枠と連結し、街道中央を流れる用水から地中を通り屋敷地まで引き込んでいたと考えられる。井戸枠中の堆積土からは江戸ガラスの破片や桃か杏子・瓜の種子も出土している。

「県央相模川サミット６市町村合同清掃」

日時：平成29年５月28日（日）

会場：相模川三川合流

出席報告　＜会員 43 名、出席対象 39 名＞

5 月 16 日例会　　確定出席率 89.47％	5 月 30 日例会　　出席 36 名　欠席 3 名　出席率 92.31％
	＜欠席＞ 米山尚登君・市川信也君・森住　等君